

令和6年12月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年12月号」をお送りしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

八戸港ではサバの水揚げが好調となり、3年ぶりに「八戸前沖さば」としてブランド認定されました。

「八戸前沖さば」は、サバのまち八戸協議会が認定する期間に三陸以北の近海で漁獲し、八戸港に水揚げされたサバ。1匹 550g以上の大型サイズは、プレミアムブランド「銀鯖」とされます。

八戸港のサバの水揚げ量は減少傾向にあり、脂肪分や重量、数量が認定要件に合わず、2年連続でブランド認定が見送られていましたが、今年は基準を満たすサバが十分に確保されているとして、11月21日水揚げ分から認定されています。

とても貴重なサバ、見かけた際にはぜひお買い求めください。

◎皆様へのお願い

職業、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸12月号 レポート

令和6年11月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	水素導入ビジョンを構築 八戸港、供給拠点形成目指す
(2)	国際物流拠点化推進協ミッション団 市長ら台湾訪問、八戸港PR
(3)	女性職員の声を市政に 八戸市 若手16人 初の意見交換会
(4)	都内で八戸圏域マルシェ 物販や芸能通じ8市町村をPR
(5)	八戸市 スマート窓口始動 書類記入省略、自宅で完結の手続きも
(6)	八戸市議会初「議会こどもふれあいタイム」 “未来の議員”と八戸市議が意見交換

【産業】

記事	概要
(7)	霞ヶ関キャピタル（東京）八戸北インター工業団地で自動倉庫稼働
(8)	八戸で県支援事業 起業目指す40人情報交換
(9)	八戸・マルヌシ「金目鯛漬け丼の素」 水産庁補助事業で新商品
(10)	八高専「イノベーションハブ」活用本格化
(11)	本八戸駅前にホテル「リブ・マックス」 県内初 来年1月開業予定
(12)	八戸毬姫牛 誕生5年祝う ホテルで「愉しむ会」

【地域】

記事	概要
(13)	吹上小（八戸）と地球深部探査船「ちきゅう」 全国初オンライン中継授業
(14)	吉田さん（八戸出身）ら慶応大「八戸プロジェクト」 空きビルを学生活動拠点に
(15)	八戸・JR陸奥湊駅前地区の再開発 リノベ施設26年秋開業へ
(16)	来春試験開通予定 八戸十和田トレイル 環境省がシンポと体験会

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	是川縄文館「是川縄文の日」 無料開放、館内にぎわう
(18)	YSアリーナ八戸で初のスピードスケートシニア国際大会 市民興奮
(19)	ヴァンラーレ八戸 新井山選手引退 最後の雄姿
(20)	県高野連 センバツ21世紀枠推薦 八戸高に表彰状

【行政】

記事	
(1)	<p>水素導入ビジョンを構築 八戸港、供給拠点形成目指す</p> <p>八戸市は、次世代エネルギーとして注目される水素・アンモニアの八戸港への受け入れと供給拠点の形成を目指し、11月1日、庁内に水素等導入推進プロジェクトチームを設置した。来年度以降の水素導入ビジョン構築に向け、年内に先行して市内外の企業約60社のニーズを探るヒアリングを実施するほか、先進事例の視察などを通じ機運醸成を図る。また、22日には、八戸市で大規模工場を操業する企業5社などで構成する八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会の会合が開かれ、市水素等導入推進プロジェクトチームや企業が現状報告を行った。</p>
(2)	<p>国際物流拠点化推進協ミッション団 市長ら台湾訪問、八戸港PR</p> <p>八戸市や青森県、物流関連企業など14団体でつくる八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長・熊谷市長）のミッション団が、同港PRのため、11月11日から14日までの日程で、台湾の台北市を訪れた。台湾でのポートセールスは6年ぶり10回目。今回は、八戸と台湾を直接結ぶ航路の再開を目指し、リンゴなど台湾向けの貨物が集中する冬期間に限定した「スポット配船」を現地の船社に提案したほか、現地関係者を招いたレセプションでは、八戸港の優位性や水産加工品などをPRした。</p>
(3)	<p>女性職員の声を市政に 八戸市 若手16人 初の意見交換会</p> <p>八戸市は11月12日、女性の意見を市政に反映させようと、市庁で女性職員を対象とした意見交換会を初めて開催した。本年度は第2期市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～24年度）の最終年度に当たり、次期戦略策定に向けて実施。参加したのは、入庁5年以下の若手16人で、まちづくりや結婚・子育てなどについて議論。「出会いの場をつくるために趣味の交流会を開く」「起業を希望する人に中心街の空き店舗を貸し出す」など、地域活性化に向けさまざまなアイデアを出し合った。</p>
(4)	<p>都内で八戸圏域マルシェ 物販や芸能通じ8市町村をPR</p> <p>11月16日と17日、八戸都市圏交流プラザ「8 base」が入居する、東京・内幸町の商業施設「日比谷OKUROJI」で、八戸圏域8市町村が主催するPRイベント「八戸圏域マルシェ」が開かれた。会場では、各市町村がブースを設け、観光や移住、特産品をPRしたほか、南部民謡と手踊りも披露された。また、アンケートに答えてクイズに正解すると同店のお買い物券がもらえる企画や、買い物客に抽選で八戸圏域詰め合わせギフトが当たる企画もあり、来場者は圏域に関するクイズや買い物を楽しみ、各市町村の魅力に触れた。</p>
(5)	<p>八戸市 スマート窓口始動 書類記入省略、自宅で完結の手続きも</p> <p>八戸市は11月18日、「書かない・持たない・行かない」をコンセプトにした新しい窓口サービス「はちのへスマート窓口」を開始した。行政サービスのデジタル化と効率化を目指すもので、市民へより便利でスムーズな窓口サービスを提供する。デジタル化により、全体の4割に当たる132の手続きで、書類記入の手間の削減や、オンラインでの申請書作成が可能となる。また、一部手続きは、オンラインで本人確認から手数料の支払いまで自宅で完結できる。事業費は総務省の「自治体フロントヤード改革モデルプロジェクト」の委託費を活用。今後は無駄のない窓口動線や生産性が高まるレイアウトの最適化にも取り組む。</p>

(6)	<p>八戸市議会初「議会こどもふれあいタイム」 “未来の議員”と八戸市議が意見交換</p> <p>子どもたちに地方自治への理解を深めてもらおうと、八戸市議会は11月19日、市庁で「議会こどもふれあいタイム」を初めて開いた。市立鮫小6年生35人と市議27人が、まちづくりや防災、水産業振興などのテーマについてグループに分かれ意見交換。「空き家を店に生まれ変わらせるため、クラウドファンディングを活用したい」「災害時の避難所となる小学校に発電機を配備してほしい」など、大人顔負けの意見も飛び出した。その後議場に移動し、議長役の児童の進行で各グループの代表が成果発表した。子どもたちは、政治活動を体感し充実感をにじませた。</p>
-----	---

【産業】

記事	概要
(7)	<p>霞ヶ関キャピタル（東京） 八戸北インター工業団地で自動倉庫稼働</p> <p>不動産開発事業を手がける「霞ヶ関キャピタル」（東京）が、八戸北インター工業団地内に建設していた自動・冷蔵倉庫「LOGI FLAG TECH八戸 I」が完成し、11月1日から稼働した。「JA三井リース建物」（東京）との共同開発プロジェクト。建物は青森県と八戸市の誘致企業に認定された運輸業「ネクストイースト」が賃借して運営する。荷主の加工食肉を冷凍・冷蔵保管する拠点となり、商品は東日本を中心に配送される。マイナス25度の倉庫内での作業の効率化や省人化を図るオートメーション型倉庫で、食料品の冷凍保管ニーズが高まる中、新たな物流拠点として期待される。</p>
(8)	<p>八戸で県支援事業 起業目指す40人情報交換</p> <p>起業やスタートアップ（新興企業）などの育成支援に向け、青森県は11月12日、八戸市内で交流イベント「ミートアップあおもりバリューアップコミュニティ」を開いた。県は今年6月、メッセージアプリ上に、起業家や投資家、支援機関などをオンラインでつなぐ「あおもりバリューアップコミュニティ」を開設しており、情報収集や相談できる体制を構築し、約250人が登録している。この日は、八戸市や金融機関、高等教育機関などが起業支援や融資制度などを紹介。集まった40人の起業を目指す人や学生らが、情報交換するとともに、事業の立ち上げに理解を示した。</p>
(9)	<p>八戸・マルヌシ「金目鯛漬け丼の素」 水産庁補助事業で新商品</p> <p>水産加工品の製造・販売を手がける八戸市の「マルヌシ」は、水産庁の補助事業を活用して新商品「金目鯛漬け丼の素」を開発し、専用の電子商取引（EC）サイトで取り扱いを始めた。北太平洋の公海・天皇海山海域で漁獲し、八戸港に水揚げされたキンメダイが原料で、とれたてを新鮮なうちに船上で急速凍結している。八戸港産キンメダイを手軽に楽しめる上、昆布とかつお節のうま味、香り高いしょうゆが魚の味わいを引き立てている。価格は税込み1,080円。</p>
(10)	<p>八高専「イノベーションハブ」活用本格化</p> <p>起業に結び付く発想力を育むため、八戸高専が校内に整備した多目的施設「イノベーションハブ」の活用が本格化している。旧記念会館を改修したイノベーションハブには、液状化実験装置や3Dスキャナー、環境放射線測定器などの新機材を導入。交流スペースも備え、学生が自由に活用できるほか、公開講座にも対応できる「科学の公民館」の役割もある。また、旧教育研究支援センター室を改修した「リサーチハブ」は、大型の機械設備を備え、企業のニーズに応じた先端的な研究に対応できる。学生の自主探求活動や社会的な課題解決に挑むスタートアップ人材の育成を後押しする。</p>

(11)	<p>本八戸駅前にホテル「リブ・マックス」 県内初 来年1月開業予定</p> <p>全国でホテル事業や不動産などを展開する「リブ・マックス」（東京）は、八戸市城下1丁目の旧ホテルセレクトイン本八戸駅前を全面リニューアルし、ビジネスホテル「（仮称）ホテルリブマックス本八戸駅前」として来年1月のオープンを目指していると明らかにした。同社は現在、全国で168のビジネスホテルやリゾートを運営しており、県内では初出店。客室はシングルやツインなど52室。年度内には大浴場とサウナも新設し、隣接する用地を賃借してインバウンドやファミリー層に人気のトレーラーハウス「マックスキューブ」も数棟設置する予定。駅近くの立地からビジネス需要を取り込み、観光客の利用にもつなげたい考え。</p>
(12)	<p>八戸毬姫牛 誕生5年祝う ホテルで「愉しむ会」</p> <p>八戸市のイチカワファームが手がける「八戸毬姫牛」の誕生5年を祝い、市内ホテルで11月29日、「八戸毬姫牛5thアニバーサリー＆ワインを愉しむ会」が開かれた。八戸毬姫牛は、黒毛和種とホルスタイン種の交雑牛の雌のみを扱い、赤身と脂身のバランスに優れた軟らかな肉質が特長。農場で子どもたちの餌やり体験やインターンシップなどを積極的に受け入れ、畜産振興や地域振興にも力を入れている市川広也代表は、関係者に感謝を述べ、「八戸毬姫牛をきっかけに、観光や飲食業の振興、地区産業発展に尽くす」とあいさつした。</p>

【地域】

記事	概要
(13)	<p>吹上小（八戸）と地球深部探査船「ちきゅう」 全国初オンライン中継授業</p> <p>市立吹上小と調査航海中の地球深部探査船「ちきゅう」を中継でつなぐオンライン授業が11月12日、同校で行われた。海洋研究開発機構（JAMSTEC）が人材育成のため推進する海洋STEAM教育の一環で、全国初の試み。同校は昨年度、同機構の教材開発に協力しており、今回は共同制作した教材を活用。体育館に集まった5、6年生は、同機構のスタッフが現場リポートする「ちきゅう」船上の様子をリアルタイムで視聴したほか、実際に乗組員へも質問し、海への興味関心と理解を深めた。</p>
(14)	<p>吉田さん（八戸出身）ら慶応大「八戸プロジェクト」 空きビルを学生活動拠点に</p> <p>八戸市中心街に活動拠点を求める学生と、若者の活動を後押しする地域の大人をつなぐため、慶応大湘南藤沢キャンパスのゼミ（研究会）が、十六日町の空きビルに学生の拠点を開設する準備を進めている。研究会では、同市出身の慶応大大学院生の吉田悠馬さんの働きかけで、昨年からの八戸のまちづくりに関する実践研究などを実施。今回は、学生の拠点づくりにより、まちづくり当事者の世代間のつながりの希薄さ、情報や協力体制の分散といった課題の解消と、まちづくり人材のコミュニティ化を図る。クラウドファンディングも行いながら、来春のオープンを目指す。</p>
(15)	<p>八戸・JR陸奥湊駅前地区の再開発 リノベ施設26年秋開業へ</p> <p>JR陸奥湊駅前地区の再開発を進めるまちづくり会社「みちのくみなと未来」は、民間市場など複数棟をリノベーションした集客施設について、2026年秋頃にオープンする見通しを明らかにした。同社は、昨年11月から陸奥湊駅の市魚菜小売市場に隣接する4つの民間市場と旧青い森信用金庫むつ湊支店の5棟の改修工事に着手。棟ごとに機能を分け、うち1棟はチャレンジショップやテストマーケティングの場とし、起業や新商品開発を目指す人に提供する。入店希望者の募集は年内に始めるほか、施設の詳細については今後、ホームページで随時発信する予定。</p>

	来春試験開通予定 八戸十和田トレイル 環境省がシンポと体験会
(16)	環境省東北地方環境事務所は11月24日、同省がルート設定に取り組む「八戸十和田トレイル（仮称）」を広めようと、起点となる八戸市でシンポジウムを開催した。トレイルのルートは八戸駅から十和田湖畔の十和田神社を結ぶ約120kmで、来年4月頃の試験開通を目指している。シンポジウムには有識者4人が登壇し、参加者は歩きながら沿線地域の文化や暮らしなどに触れられるトレイルの魅力について理解を深めた。また、23日には、一般参加者が初めて奥入瀬溪流温泉などの十和田市内のルートの一部を散策するイベントが行われた。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p>是川縄文館「是川縄文の日」 無料開放、館内にぎわう</p> <p>八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館で11月3日、楽しみながら縄文時代について学ぶイベント「是川縄文の日」が開かれた。同館が「是川縄文の日」と定めるこの日は、館内を無料開放し、展示を開設するギャラリートークや土面、勾玉づくり体験などを実施。また、千葉学園高生活文化科の生徒が土偶をモチーフにしたオリジナルの練り切りやマドレーヌ、刺しゅうを施したチャームを販売し、練り切りは開始1時間を待たず完売する好評ぶりだった。</p>
(18)	<p>YSアリーナ八戸で初のスピードスケートシニア国際大会 市民興奮</p> <p>「ISU四大陸スピードスケート選手権」が11月15日～17日、YSアリーナ八戸で開かれた。シニア国際大会は同アリーナで初開催。2022年の北京五輪1,000m金メダリストの高木美帆選手をはじめとした多くの五輪メダリストらが参戦し、一流選手の滑りを一目見ようとスタンドには大勢の市民が詰めかけ、3日間の来場者数は延べ5,694人となった。また、今大会で青森県スケート連盟は2月の世界ジュニア2大会の経験を生かし、選手やチームスタッフ向けのケータリング（配膳サービス）を強化。地元と飲食店が食べ物を用意し、八戸聖ウルスラ学院高英語科の生徒が通訳を担当するなど、地域に国際大会を活用してもらう機会を作った。</p>
(19)	<p>ヴァンラーレ八戸 新井山選手引退 最後の雄姿</p> <p>サッカーJ3のヴァンラーレ八戸は11月24日、八戸市のプライフーズスタジアムで今季最後の試合に臨み、FC大阪に1-1で引き分けた。レギュラーシーズンの全日程を終了し、八戸は13勝13分け12敗で11位となった。また、この日はヴァンラーレ筋で17年間在籍し、今季限りで引退を表明していた「ミスターヴァンラーレ」と新井山祥智選手が後半から途中出場。ボールを触る回数こそ少なかったものの、正確なパスを前線に送った際はスタジアム内でどよめきが起こった。最終戦終了後のセレモニーでは「最高のサッカー人生でした」と謝意を示し、惜しまれながらピッチに別れを告げた。</p>
(20)	<p>県高野連 センバツ21世紀枠推薦 八戸高に表彰状</p> <p>青森県高野連は、来春の第97回選抜高校野球大会（センバツ）の21世紀枠県候補校に八戸高を推薦し、11月28日、表彰状を授与した。同校が推薦されたのは初めてだが、過去には夏の甲子園大会に6度（八戸中時代を含む）、センバツには1度出場した実績がある伝統校。データの視点から練習改善を図るなどし、今秋の県大会では8強入りした。21世紀枠での出場校は2校。12月13日に全国9地区の推薦校が決まり、来年1月24日に出場校が選出される。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

